

平素の涙

多田龍介

◆ 目次

反駁	5
一八二九	6
What the hell are you doing ?	8
親不孝とは	10
後悔先に	12
口説けども	14
簡単に	16
独特	17
よくわからんが	18
空に吸われし	20

遠近両用レンズ	22
人間的な	24
酔いどれ船	26
落花流水	28
王様の耳は	29
貝になりたい	30
誠に寄るのみ	32
凡骨英雄	34
けなしレタス	35
命綱	36
あとがき	37

反駁

夢だと思わない。無茶苦茶痛いから。

夢のようだけど。物語に住んでる私たち。

住んでみると、よくないですな。物騒で。

無意味だと君が言うとき私はいない。

無意味だと言うことなけれ、そのときも。

一八二九

タイトルに一八二九
はて、一八二九年？ とWikiを見る

目ぼしいことはない

テムズ川でオックスフォード大学とケンブリッジ大学のボートレース
オックスフォードが優勝、うむ

スコットランドヤードが発足、うむ

生誕は西周（哲学者）

この人はあまねさんのHNの素だろうか

他、本因坊秀策、これはこれは

といつても目ぼしいことはない

いや、ここは一八二九、いや肉と読むべき
なのではなからうか

菜食主義から遠ざかること千里
殺生なしには生きられぬ人間の

いやいやさらに、 $1+9$ と $8+2$ 、足して10の……

と、僕としてはいや肉を推したい
力つけて行こうね

What the hell are you doing ?

メルヘンだったというだけで
メンヘラ扱いされる
いやな世の中だ

あるいはこうかもしれぬ
Menが笑っている
よろしい、メンヘラだ

糖質が浮かべられることはない
糖質の数を？

そして国ごと浮かべれない南無

ざまあーっつと

マザアに泣きつくのであった

それでいい



親不孝とは

人間は皆エゴイストだ
皆、自分が可愛いのだ

ワクチンにしても

母の身を案じているのではない
己の身を案じているのだ

つまり母に先立たれば

僕は孤立無援
生きる能もない

そこは母の身を案じているで
いいんじゃないかな

そうだね

そうだよお

なんとしてもそんなことになる前に
僕が逝かなければ
というのも無理で

どうしようもない僕ら

後悔先に

伝えるべきことを

伝えないから

人が狂うのだ

つまり君が僕を

彼らに紹介しないから

達せずに

引き返した者が

あつたらうか

いや

ない

引き返した方が

いいですよ

無駄に死んでいった

幾億の
生死たち

□ 説けども

AIは文も書けるし絵も描けるしで
最近、覚醒した感があるな

隔世の感ですか
いやまあ、そうだけど

しかしまことしやかに
間違ったことも言うな

気にするな

知ったかの人間と思えば

いやいや、何より

愛がないんだよ

A I だけに

そんな落ちはいらんよお

簡単に

蜂の巣穴の形に神を感じる

花の花弁に神を感じる

犬の添い寝に愛を感じる

人の所業にデビルを感じる

ああ、人だけがクルクルと

独特

道徳をどう説く？
なんつって

やっぱりあれじゃないですか
天国の報酬で釣り
地獄の業火で脅し

ふむ、来世への見返りか
こういうのはな
見返りがなくてもやるんだ

あなたはそれでいいかもしれませんが

よくわからんが

ココに注目↑の絵を見ながら

本邦はなぜ少年たちを守れなかったか
考える

婆が餓鬼道に堕ちていたと

坊主の説教を聞きながら

坊さんは訓練された思想家ではないと
考える

目覚めたら

犬になつてたら

どうしよう

もう犬なんじゃないかな？

ああ、そうだよ

僕らが学んだことは

ともかく逆らってはならんのだ
ということだけ

万難を排して奴隸

との書き込みに笑ってしまった

力による一方的な現状変更を

認めないというとき

もちろん僕のことを考えてますか

空に吸われし

世界が広いと感じられるのは
未知のものがあると思っ
ているから

悲しいことに今、私は
何もかもわかったと言
う

宇宙の神秘、かのデル
タ地帯の謎
冒険は終わった

しかしそして

私が謎になったのだ

君たちの冒険は終わら
ない
行こう、一大スペクタ
クルロマン



遠近両用レンズ

追悼三・一一

漂流しながら助けを待つ
なんて地獄があつたとな

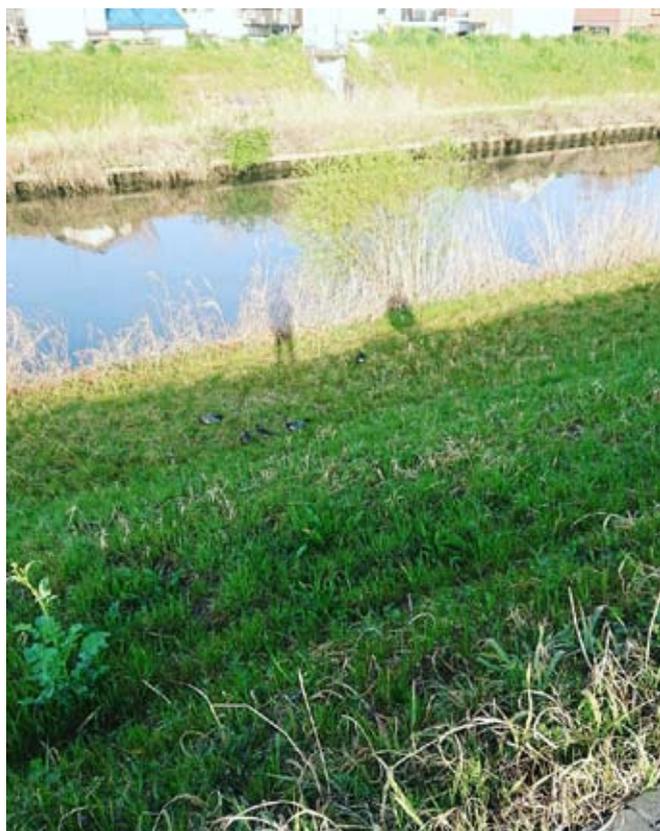
トルコ人には今の地獄が
ウクライナには戦禍の火
アメリカ人には九・一一

誰も近しい地獄を記憶
近視眼的言われても

僕は遠くに

遠いから愛されて

半径三メートル四方を守るべし



人間的な

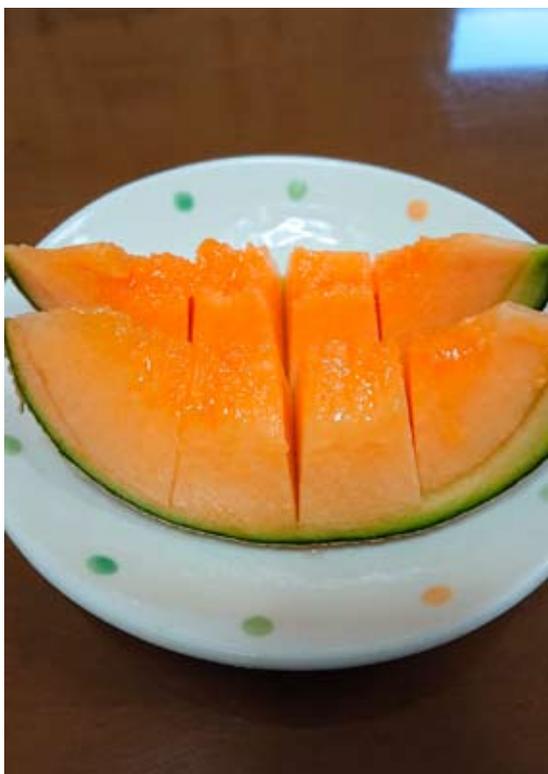
甲子園出たら親戚増えちゃう現象とか
好きくない

太宰さん出たら親戚慌てちゃう現象とか
好きくない

太宰さん死んだら一族の誉れになっちゃう現象とか
好きくない

乗っかって来るなーと僕は言いたい
僕も乗っからない

オオタニさんはそんなこと言わない
さすが、千人乗っても大丈夫



酔いどれ船

好みの女優の舞台の相方を見て
美男過ぎて僕の入る余地はないと思う
終了

学校での校則から叩き込まれるのは
重要なのは地頭ではなく
理不尽でも従わねばならぬルールなのだ
ということを知るだけ

そして僕らはマシーンになる
バイト先で、職場で
しかし接客マシーンとは世を忍ぶ仮の姿
家に帰れば僕はアリス・ド・クール・エウロス
世界を股にかける冒険家なのだ

という生き方をこの国の人達は当然にしている

そうだったのか……

この国のヤバさに気づき始めた世界の人は

あなた方のルールに完全に従いますと言ってやってくる

だが、実は逃げたほうがいい

落花流水

僕だつて箱入り息子でしたのに

自戒もない改^{かい}悛^{しゅん}もなく慈悲もない

弱き者、汝の名ばかり女なり

生前に言えない君はまた屈す

偶像は人に被せし幻想を

王様の耳は

冷酷な奴だよと傍、聞こえてき

彼の何を知っているというのだから

いないとき悪口言う人信じるなど

いないから言うんじゃないか悪口は

対面で言えますか君、悪口を

言ったらばもう戦争だ、飛ぶ拳

王様の耳はロバのと花が咲く

貝になりたい

お酒を飲んだときは、政治と宗教の話はしないと書いたことがある

受け取られ方としては
前半部分は吹っ飛んだのである

「最近の若い者は」という落書きがピラミッドにもあつたと書いたことがある

受け取られ方としては
冒頭以外、吹っ飛んだのである

人の話聞いてないね、君たちいゝ

聞いていて、聞きたいとこだけ聞いてるんじゃないの
うかつなことは言えないのだ

ああ、しゃべるまい



誠に寄るのみ

わざと希釈して言いがかりを演出するなんて
そんな巧みなことを考える人がいるなんて
ちよつとシヨックです

形見のグラスを見て

「これ割ったら大変ですね」と
笑って言うなんて

あなたの心は歪んでます

と、ここまで来て

彼らは自分のしていることが
わかっていないと感じる

もし人の死を感じていたならば

そうはならないであろう

しかし小細工権謀、大差ない
一局を汚してまで得るものなど
何もないのだ

凡骨英雄

ヒーローは助けに来ないと悟った子

ヒーローはいい詩を書いて眠りたい

ヒーローの浪費はやまず所詮文字

もじもじしやがってこのと君の言う

ヒロインの位置は固いぞ気を強く

けなしレタス

音楽をやたらとけなすレスを見た

情動の発露が嫌いなんだと見

感情を殺すことだけ覚えてく

実際に死んでしまった人も多々

怒りがだ、けなすレスにも生きている

命綱

命を留める

祈りも届かず

散り行く人たち

辛い日々

泣いても戻らず

はらはらとまだ

追悼するにも

今忙し^{せわ}

丁寧な説明など

いつあったか

あとがき

この詩集は二〇二三年二月から五月にかけて書いた詩、二十編をまとめて作った。書きおろしは『独特』と『命綱』の二作になる。

三ヶ月くらい経つと一冊小冊子ができあがるという繰り返しをしている。あまり日々の生活は変わらないのだが、お外はだんだんだか、どんどんだか悪くなっていくようだ。

先の展望がなくても生きて行けるか。生きていくしかないのである。そして昔に今のようなありさまは想像だにしていなかったで、何とかやっていくのだろうと思う。

もっと能動的に自分の手を突っ込んで行きなさいと思われる方もいるかもしれないが、私は受け身な人間なので。精一杯の能動行為は、こうして詩集を作ることくらいなのだ。読んでいただけたら嬉しい。

二〇二三年五月三十一日

多田龍介

平素の涙



令和五年六月二日 初版発行

著者 多田 龍介
発行者 多田 龍介
発行所 明水工房

